33 株式会社 あいぼっくす

画像修正処理している風景

“デジタル情報制作集団”として社会を支える

平成26年度 補助事業と具体的成果

■ 事業テーマ
独自の色合わせ技術を特殊紙など新たな商材の企画提案につなげる

■ 事業概要
あいぼっくすは創業以来蓄積してきた写真製版や画像処理技術を生かし、独自の色合わせ技術を持っている。これを同社が得意とする学校の教科書や、それ以外に通常のプリンターでは出力ができなかった商材に企画提案していく。補助事業で大判インクジェット印刷システム、UVインクジェット印刷機、カッティングプロッターを導入。特殊紙を使って文化的な価値が高い絵画を再現しようとする動きや、曲面などの複雑な加工にも対応し、それらを実際に実現した見本で確認することが容易になった。

補助金で導入の大判印刷システム

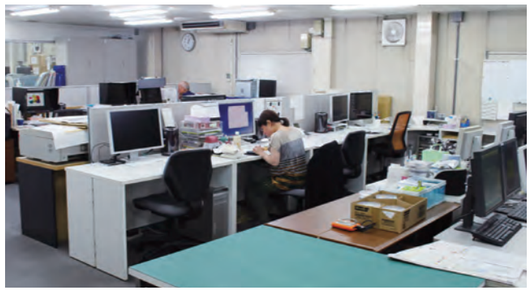
課題	取組	成果
●顧客が求める素材で色や質感、それに形状（製本）なども、完成品と同じ状態で事前に確認したいという要望に一括して対応する。	●カラーマッチングができる大判インクジェット印刷システム、多様な素材・材質に対応したUVインクジェット印刷機、複雑な形状も可能なカッティングプロッターを組み合わせた。	●これまではバラバラにしか対応できなかった色や形状、素材、質感などを一度に確認したいという顧客の要望に対応することができ、企画提案が容易に行えるようになった。

業務内容

デザイン・制作から製版、印刷まで一貫体制を構築
あいぼっくすは昭和37年に画像修正に特化した“匠の集団”として創業以来、写真製版・画像処理分野の技術力を蓄積し、平成３年に当時では関西で最も早くDTP・デジタル化に取り組んできた。現在では学校の教科書も手がけ、デザイン・制作から製版、印刷まで一貫した体制を構築している。

アフターコロナは５Gで売り上げアップ！
あらゆる情報のデジタル化に向け、早くから次世代通信システムの５Gを睨んだ取り組みを用意してきた。それは年毎の活発な設備投資にも現れている。今は早くも６Gに向けた準備を行っている。目指すのは「7割のIT化、３割のリアル（印刷物）対応」（大西健彦社長）。製版印刷の工程を省力化し、検品や顧客からの苦情処理などに人手を割いている。「顧客の苦情の中に宝がある」（大西社長）と、顧客の困り事などに積極的に関わる姿勢が、全体の士気とチームワークを高めている。

創業以来約60年、これまで顧客からの信頼を集めてきたのはその技術力だけではない。仕事柄、顧客の機密情報を扱うことも多いが、機密保持を最優先にした安心・安全が顧客から評価されている。



作業室内

強みとビジョン

60万点にも及ぶコンテンツデータ
あいぼっくすには、特にこれまで学校の教科書制作に携わる中で蓄積してきた膨大な量の、教科書に掲載されている文化資産コンテンツデータがある。その数は現在数十万点にも及ぶとされ、このデータは守秘義務契約があるので発注元の承認なしには流出させないシステムを社内外とも連携し構築し完成させている。この機密漏洩を防ぐ技術は他社にはない同社の強みとしてさらに生かすことを考えている。

UVインクジェット印刷機

全工程をデジタル化対応へ
今回の補助事業で一連の機械設備を充実させるきっかけを得ることができ、同社が持つ独自のカラーマッチング技術を機械にインストールし、紙以外にもPETなどの化成品といった、従来とは異なる素材への印刷を容易に提案できるようになった。

これまでの消費財市場ではその印刷物にはますます感性が要求されるようになっており、ちょっとした違いが再現できる技術は必要不可欠だ。さらに複雑な形状の切断にも対応できることで、例えば、特殊紙を使った浮世絵、屏風、日本画などの分野を新しい市場と捉え、伝統工芸市場などに活路を広げていくことも考えている。

カッティングプロッター

オンラインシステムを実用化へ

令和3年3月までには顧客と結ぶオンラインシステムが構築され、わざわざ営業のために出歩く必要もなくなります。日々の顧客の要望を取り入れ、あいぼっくすの技術を支えるのは平均年齢が48歳の社員たちです。将来“デジタル情報制作集団”として社会における存在価値はますます高まるに違いないと見ています。将来はオンリーワンの技術者を沢山育てたいと大真面目に考えています。

●社　名　株式会社 あいぼっくす
●代表者　代表取締役　大西 健彦
●住　所　〒537-0011
大阪市東成区東今里2-6-18
●ＴＥＬ　06-6977-6155　●ＦＡＸ　06-6977-6152
●資本金　46,000千円　●従業員　25名
<<< 代表取締役　大西 健彦

http://www.ibox-data.com/

●主な取引先　出版社、印刷会社、デザイン会社、制作会社
●主な保有設備　パソコン（Mac、Windows各対応）、デジタル印刷機、カッティングプロッター
●主力製品　各種教科書、学参物の印刷前システム

短納期　企画力　小ロットOK　オンリーワン技術　試作OK　連携力

REPORTER'S EYE
決して派手な業界でも会社でもないが、情報化社会の肝心要の部分をしっかり握っている、まさに建築物でいえば土台を担っているという自負にあふれている。こうした職人の個々の技に依りがちな技術を、社長自らコンピューターをはじめとする先端設備の導入を先導して行い、うまく会社の財産にしている。「今後は動画も扱っていく」と大西社長は先を読む。その目はしっかり将来の発展を捉えているようだ。